

まちづくりワークショップで出された、日本で“一番”をめざす、「〇〇なまち」

カテゴリ	日本で一番、「 」をめざす！			実現に向けての課題		
おいしいまち グルメ・食	「海のさちがおいしいまち」	「おいしい食べ物があるまち」	「何でも食べられるまち」	PR不足	情報の発信	食べる所がない。ブランドの発信
	「美味しいまち」	「お酒がおいしいまち」	「B級グルメがおいしいまち」	飲食店が少ない	食に関しての情報が少ない	食・資源を生かす（本通り）
	「食べものがおいしいまち」	「魚がおいしいまち」	「レストラン、食堂、バラエティがあるまち」	魚のPRが消極的	外向きに発信する。口コミやSNSなど	
産業・豊か 活気・活力・元気 交流するまち	「『ありがとう』の多いまち」	「工業地（労働）雇用のまち」	「仲間づくりしやすいまち」	空き店舗の利用	地元の興味が薄い	若い人が参加しやすいか？
	「あいさつが元気なまち」	「個人事業主の多いまち」	「のびのび楽しめるまち」	色々な世代間で交流できる機会が少ない	就職先が少ない	若者の集まる場所がない
	「異業種のつながりが強いまち」	「幸せなまち」	「平均所得が高いまち」	起業してもすぐに結果がでない。 成果が継続しないと、モチベーションが もたない	少子化、人口減少	若者が集まろうとしない
	「移住者に優しいまち」	「資源豊富なまち」	「人を呼べる仕事を生み出すまち」	情報発信がたりない		若者、後継者、農家（女性）、漁業
	「一次産業が元気なまち」	「死ぬまで楽しいまち」	「盛り上がるまち」	行政も支援・商工…産業連係	他の産業間での交流が少ない	
	「イベントが多いまち」	「集客力のあるまち」	「横のつながりが強いまち （町内会、漁業、農業、商工会とか）」	後継者がいない、人手不足	町の支援（町営牧場etc）	
	「飲食店の多いまち」	「商店が多いまち」		後継者問題、後継者不足	定住できる環境、人口が増えるように	
	「笑顔の多いまち」	「少なくとも若者の力が強いまち」	「老若男女みんなが元気なまち」	魚が獲れない（船が入ると町がにぎわう）	都市部とのつながりが少ない	
	「活気のあるまち」	「楽しいまち」	「若い起業家の多いまち」	資源回復	農・林・漁 個人で集まる	
	「牛乳を飲むまち、食べるまち」	「力みなぎるまち」	「若い人が多くなるまち」	仕事がない→あるけど低賃金	発信力の弱さ、インターネット	
	「漁港がにぎわうまち」	「長寿なまち」	「若者が主役のまち」	仕事が大事	目立ちたくない風潮	
	「景気が良いまち」	「特産品が多いまち」		自然を守ると一次産業は元気になる	酪農がほとんどで、畑作を営む人が少ない	
	「元気なまち」	「都市部と交流するまち」		失敗した時の負担が大きい	若い人が意見を言う場所	
観光のまち ストーリーのあるまち 個性のあるまち オシャレなまち	「アウトドアに行ってみたいまち」	「観光が楽しみなまち」	「花火がきれいなまち」	アウトドアのインストラクター	（サーフィン）壁がある	町外へのPR不足
	「アートなまち」	「観光客が多いまち」	「バックパッカーが集うまち」	イベントをふくらます	（サーフィン）指導者がいるといいのでは	パーティー音楽系をやってみては？ （資金難）
	「移住してみたいまち」	「キャンプをしたいまち」	「人がたくさん来るまち」	インバウンドビジネス（外国人に受けるもの）	（サーフィン）レンタルショップ	
	「行ってみたいと思われるまち」	「木であふれるまち」	「フォトジェニックなまち」	海が楽しめるのはサーフィンぐらい、レ ジャー施設もない	柔軟な考えを持ち、 個性に富んだ発想が出せる機会	バックパッカー＝若い人が多い、外国 人・知らない人が長期滞在すると不安な 部分がある
	「インスタ映えするまち」	「サーフィンなまち」	「また来たくなるまち」			
	「海が楽しいまち」	「ジャズが流れるまち」	「祭りが盛り上がるまち」	海、トラブルもある。 危険、漁業者、あさり掘り禁止→密漁??	ストーリーを出せるイベント減 （そのストーリーを出せる場所やイベント）	人の集まる環境づくりが必要 （リピーター）
	「美味しい食堂やカフェがあるまち」	「資源活用（観光）のまち」	「学べるまち」			
	「お洒落なまち」	「スローライフが楽しめるまち」	「ゆったりできるまち」	オシャレ情報をどう発信するか	体験する場、人が来れるように	広尾の観光案内人
	「オタクなまち」	「ディープなまち」	「旅行者が多いまち」	「オタクなまち」方向性を決めて発信す るが、失敗すると誰も来ない	他のまちでも行っているものが多いの で、どう差別化するか	学ぶ機会が少ない
	「思い出に残るまち」	「動物に会いやすいまち」	「ルール無用なまち」			道の駅などの観光拠点がない
	「面白いまち」	「ソウルなまち」	「笑いの多いまち」	各団体の連携不足	町外向けのイベントをひらいても日曜が 定休日等で、誰のため？になっている。町 外の人向けに	元々あるもの、忘れている物の維持
	「おもてなしがよいまち」	「ドラマチックなまち」		観光資源の不足		レジャーと産業の共存が可能か？
	「音楽活動がさかんなまち」	「花であふれるまち」		観光大使はいるのか？（八角親方は？）	町ならではの物を作る	
健康・福祉	「医療が安心なまち」	「長寿なまち」	「福祉なまち」	延命治療は行わず、最後の時間をでき る限り本人の希望にそった生活を過ご してもらえるような施設	定期健診率が非常に低い	ボランティアの方の高齢化 （主力が70～80歳代）
	「お年寄りに優しいまち」	「長生きできるまち」	「ホスピタル地 病・健 のまち」		独居老人とのコミュニケーションをふ やす → （道外）パソコンを各世帯に配 布し、朝起きたらチェックを登録してもら い、チェックがない世帯に職員がまわる	
	「活動的な年寄りのまち」	「働く高齢者が多いまち」	「ボランティアの多いまち」	巨大老人ホーム建設		
	「健康寿命が長いまち」	「病気になっても安心して暮らせるまち」		高齢者の集まりが少ない		
	「出生率が高いまち」	「福祉が充実しているまち」		産科など帯広まで行かないとならない	病院の維持ができるか？	
子ども	「子育てがしやすいまち」	「子どもが元気に育つまち」		遊び場が少ない（屋内施設など）	子どもの遊び施設が少ない	豊似、野塚に学童施設や一時保育所が ない
	「子どもが多いまち」	「子どもがのびのびと生活できるまち」		子育て、教育の選択肢をふやしたい	→遊び場ができれば、元気に育つかも	
	「子どもが元気なまち」	「子供にやさしい」		（子育てへ）OB、OGの登用	少子化	保育施設の受入人数不足
教育・文化	「教育力があるまち」	「文化活動が盛んなまち」		浦河で、元商店街の一角で小学生だけ でお店を経営する取組をしてるらしい	高校のインターンシップで行ける場所が 少ない。なぜなら先生が新規開拓のノ ウハウを持っていないから？	
	「子どもの体力があるまち」					
	「子どもの夢を応援するまち」			活動施設・文化ホールがない	スポーツなどの少年団が成り立たない	

まちづくりワークショップで出された、日本で“一番”をめざす、「〇〇なまち」

カテゴリ	日本で一番、「 」をめざす！			実現に向けての課題		
安心・安全 エネルギー	「安心して人生設計ができるまち」	「交通事故件数が少ないまち」	「心配事がないまち」	安心の確保	バイオマス発電	
	「安心なまち」	「交通事故の少ないまち」	「治安のいいまち」	生きていくうえで心許ない		
	「安全なまち」	「災害に強いまち」	「犯罪の少ないまち」	子どものための安全な施設が少ない		
	「エネルギー自給のまち」	「事故のないまち」	「犯罪率が低いまち」	災害時の細かな情報発信		
	「お年寄りが安心して暮らせるまち」	「将来安心してくらせるまち」	「平和なまち」	水素で発電 → 温泉・大衆浴場をつくる		
くらし 住みやすいまち	「安心して住めるまち」	「自家用車がなくても困らないまち」	「納税率No.1のまち」	空き家、空き地の情報が不足している。 亡くなったら、そのまま空き地に	公園がない	年をとった時に物が買いづらい (豊似、音調津)
	「海が近いまち」	「除雪が楽なまち」	「雪が降っても除雪しなくてよいまち」		公共交通が不便	
		「水道代が安いまち」		新しい公共施設に使えるお金がない	後継者がいない	なかなか減税できず、町民の負担を減 らせない
	「お年寄りが住みやすいまち」	「住みごちがよいまち」		医療機関が不十分	交通	
	「買い物に困らないまち (お店がある)」	「住みやすいまち」		お年寄りの情報が不足。独居老人が多 い→コミュニティがあれば町内会等 で見守り	高齢化が進んで、近年多発している高 齢ドライバーによる交通事故が心配	何もかもが限界(サビれている) 人がいない
	「買い物をしてみたいまち」	「住んでみたいと思われるまち」		お年寄りの割合が大きい(若者が少な い)野塚は6割以上が高齢者	財政難	店が減る
	「公共施設の充実したまち」	「生活費が安いまち」			除雪より排雪の方が大変	若い人(モヤッとしている)
	「公衆トイレが多いまち」	「節約上手なまち」		買い物する場所が少ない	人口減少	若者の仕事がない
	「光熱費が安いまち」	「地域と海が共存しているまち」		金がないけど、かける所にかけないとダメ	町民一人ひとりがちゃんと意識、 生きがい、やりがい	
	「最後まで住めるまち」	「町民税が安いまち」		車がないと移動できず不便		
景観・自然・環境	「空き家がないまち」	「きれいなまち」	「自然豊かなまち」	空き家が多い	広尾の水を売り込む	
	「空き家の少ないまち」	「空気が美味しい!まち」	「植物が多いまち」	空気、水、食べ物おいしいのは 北海道では普通で、差別化を図るのが 難しい	PR不足	
	「美しいまち」	「景色のきれいなまち」	「仲良しなまち」			
	「海がきれいなまち」	「桜並木のまち」	「水が美味しいまち」	ゴミのポイ捨て		
	「エコなまち」	「自然にふれあい、親しみをもてるまち」		住んでいる人が良さに気付いていない		
情のあるまち つながり・自主力 人	「集まって楽しめるまち」	「声をかけ合えるまち」	「町民皆が役割を持つまち」	意識共有が困難		
	「いじめのないまち」	「心の豊かな人が多いまち」	「つながるまち」	SNSが発達してきて、全てネットで調べ て完結している		
	「犬にやさしいまち」	「子どもが戻ってくるまち」	「仲良しなまち」	SNSだけでは感情が伝わらない		
	「SNSが関係ないまち」	「自主自立するまち」	「ネットワークがあるまち」	大人への不信感		
	「温かみのあるまち」	「住民と一緒に考えられるまち」	「ハートが多いまち」	小さい子からまちづくりの認知していく		
	「笑顔のあふれるまち」	「世代を超えた交流があるまち」	「皆で一つなまち」	町民の交流の機会が少ない		
	「笑顔の多いまち」	「頼り合えるまち」	「みんながやさしいまち」	町内会の活発な活動が必要		
	「近所づきあいが上手なまち」	「町民が支え合うまち」	「優しいまち」	どんなことを求めているか、意見交換の場		
	「近所の顔が見えるまち」	「町民が参加するまち」	「優しさあふれるまち」	人との関わりを嫌う		
	「高齢者を大切ににするまち」	「町民が主役のまち」				
未来のあるまち 夢のあるまち	「イルミネーションがキレイなまち」	「サンタを推しているまち」	「もっとサンタランドのまち」	クリスマス時期以外の取組	サンタランド関連、観光客にどこって聞 かれる。	セカンドハウスを移住・体験に活用し、 定住者をふやす取組につなげる
	「永住者が多いまち」	「自慢ができるまち」	「夢のあるまち」	雇用がないため、人が来れない		
	「子どもが多いまち」	「明るいまち(イルミネーションの多い)」	「夢のようなまち」	サン、サン、サンタの宅急便のような取 組を復活	自慢できる場所はそもそもあるのに知 られてないだけでは。	そもそも広尾町全体がサンタランド。 大丸山が聖地ってコンセプト!!
	「サンタがいるまち」	「セカンドハウスのまち」	「わくわくするまち」			
	「サンタが出没するまち」	「にぎわい、多くの子ども達」		サンタランドが抽象的である (サンタ居ない。歴史を感じさせない)	社会的に先が不透明で夢が持てない	
	201の「〇〇なまち」					